

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービスなないろみやき		
○保護者評価実施期間	令和7年1月4日 ～ 令和7年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17 (回答者数)	16
○従業者評価実施期間	令和7年1月4日 ～ 令和7年1月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種があり、多方面からのアプローチが可能。	保育士だけでなく、介護福祉士、小学校教諭、ダンスインストラクターによる支援を行っている。また、栄養士の献立のもと、手作りおやつを提供し、野菜を使うなど、食育にも繋がっている。	同法人鳥栖事業所に、理学療法士や看護師、社会福祉士、パラ水泳指導員もおり、職員間の知識・技術の向上には繋がっているが、それぞれの資格を生かして、直接支援もできるかもしれない。交流イベント等を増やしていく。
2	コミュニティセンター内のテナントであり、センターのイベント参加やスペース（中庭、トイレ、階段等）が利用しやすい。	雨天時も、センター内で散歩できる。2階建てであり、階段昇降の訓練もできる。事業所内にトイレは無く、センター内のトイレを使用している為、外部の人との触れ合いも多く、挨拶など社会性の構築にも繋がっている。夏は中庭を借用し、プール活動を行っている。 避難訓練はセンターでの合同避難訓練に参加している。	センター内にプールやフードスペース、売店もあり、買い物体験や外食体験が可能。また、2.5mプールもある為、水の危険を知ってもらったり、遊泳イベントを行うなども検討したい。
3	鳥栖事業所に陶芸の窯があり、陶芸活動が出来る。陶芸は、手先及び脳の刺激にもなり、楽しみながら成長を促せる作業である。	事業所の製作活動で、事業所内で粘土を使い陶芸実施。焼きの工程は、鳥栖事業所で行う。	陶芸の窯を見学することもいいと思われる。交流イベント等で鳥栖事業所に行く機会を作り、その際に窯の見学を行い、焼き上がるまでの工程を知ってもらう。 また、白石焼など近隣の窯や焼き物の見学も検討する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別支援に十分な時間がさけない。	一日当たりのスタッフ数は基準を満たしていても、マンツーマン対応が必要な児童が多く、個別支援できる時間が作れない。マンツーマン対応が必要な児童にしか個別支援ができる時間が作れていない。	短時間からの個別支援の実施。マンツーマン対応が必要な児童の利用日や利用時間を調整するなどして、それ以外の児童と個別に関わる時間を作る。 短時間アルバイトの検討。
2	興奮時に中々落ち着かない。	フロアに仕切りがなく、他児童を見て影響される事が多い。	パーティションで仕切りを作り、全体が見えないような環境、少人数の環境を作ってみる。
3			